



探検家に
なつたみたい

自然体験 [久慈市]

内間木溪流シャワークライミング、平庭高原オリエンテーリングなど、久慈エリアの大自然の中でフィールドワークを楽しもう。
教育旅行・民泊の受付も行ってます。
@ふるさと体験学習協会 ☎ 0194-52-2168

ふれあい・発見・感動のふるさと体験

大人も子どももみんな でチャレンジ!



山村体験 [久慈市]

自然と調和した生活を創造するために作られたバッテリー村。生活民具作りや、炭焼き、郷土料理作りなど、本格的な山里の文化体験ができます。
@バッテリー村 ☎ 0194-72-2959



牧場体験 [葛巻町]

搾乳体験、牛の世話、羊の毛刈り、アイスクリーム作り、チーズ作りなど、牧場ならではの体験を楽しむことができます。
@くずまき高原牧場 ☎ 0195-66-0555



ツリーイング [久慈市]

ロープ1本で木登りを体験できるツリーイングは、木を傷めることなく誰でも気軽に楽しめるスポーツ。視点ができれば新しい発見もいっぱい。
@ふるさと体験学習協会 ☎ 0194-52-2168



子どもキャンプ [葛巻町]

1~2週間のキャンプ開催中、出会いや共同生活を通じた仲間との関わり方、酪農体験を通したいのちの大切さ、食や資源の大切さについて学べます。
<http://www.kuzumaki.jp/>
@くずまき高原牧場 ☎ 0195-66-0555

平庭高原には おいしいものもいっぱい!



山ぶどう

毎年10月頃から収穫が始まる山ぶどう。甘酸っぱい山の恵みはワインやジュース、スイーツに加工され、おみやげにも人気です。
@森のこだま館 ☎ 0195-66-2320
@くずまきワイン 森の館ウッディ炭の科学館 ☎ 0195-66-3111



食の匠から一言
漆真下トヨさん



まめぶ

お正月や結婚式などハレの日に食べられる伝統食。練った小麦粉の中にクルミや黒砂糖を入れ、丸い小さな団子状に丸めたもので、野菜と一緒にしょう油仕立ての汁でいただきます。「まめぶの家」では、まめぶ作り体験もできます。
@まめぶの家 ☎ 0194-72-2839



食の匠から一言
谷地 ユワノさん



手打ちそば

冷涼な気候を生かして育てられたそばは美味しいと評判です。「そばの匠館」ではそば打ち体験や手作りおやつ、まめぶ作りなど、ふるさとの味と技を堪能できます。そばの通販も行っていきます。
@そばの匠館 (要予約) ☎ 0194-75-2315
☎ 0194-75-2034 (予約受付)



食の匠から一言
岩脇 ヨシエさん

平庭高原周辺の豊かな自然が育てた食材は、どれも一級品。オススメを「食の匠」がご紹介します

平庭高原 体験交流ガイド

ドキドキ、ワクワク。
高原で遊ぼう！学ぼう！



岩手県

平庭高原 アクセス情報 ACCESS



- 盛岡から
国道4号・281号線経由 車で約1時間45分
JRバスで約2時間(盛岡駅発~久慈駅行)
- 八戸から
東北自動車道八戸線(九戸I.C. 経由) 車で約1時間
- 久慈から
久慈駅から国道281号線経由 車で40分
JRバスで50分(久慈駅発~盛岡駅行)
- 二戸から
国道345号線経由・九戸~葛巻、国道281号線経由・葛巻~平庭 車で約1時間



イベント情報

- 6月中旬**
平庭高原つつじまつり
レンゲツツジとヤマツツジが高原を朱色に染め上げます。
- 2月の第2土曜**
平庭高原スキー場まつり
多彩なイベントに加え、夜は夢灯りと花火が行われます。
- 年に3回**
平庭高原闘牛大会
東北地方で唯一開催されている闘牛大会です。



お問い合わせ

平庭高原体験学習館 森のこだま館
(葛巻高原食品加工株式会社)
岩手県岩手郡葛巻町江刈1-95-55
TEL.0195-66-2320
www.morinokodamakan.jp/

平庭高原自然交流館 しらかばの湯
(平庭観光開発株式会社)
岩手県久慈市山形町来内20-13-1
TEL.0194-72-2700 (平庭山荘)
www2.ocn.ne.jp/~hiraniwa/



このパンフレットは久慈地方振興局・盛岡地方振興局の地域振興推進費を活用して作成しています。



平庭高原 インディペンデンストレール



◎平庭山荘 ☎ 0194-72-2700

フォレストボードウォーク

板を購入してレールに打ち付けることで、車椅子の方やお年寄りでも、自分の力で自然散策できる自然環境に配慮した木道を作っていきます。板には自由にメッセージや絵などを書くことも可能。全て手作りのインディペンデンストレールに、みんなの思いをつないでみませんか。



知ってる? 平庭高原のあれこれ



塩の道 [塩ペコの道]

江戸時代、野田産の塩は牛の背に積まれ、遠く内陸まで届けられました。いくつもの峠を越えて歩き続けたその道は、人と牛たちに踏み固められた「塩の道」となりました。本来、海岸の砂地に自生するハマナスが平庭高原で見られるのも、これら牛や牛方によって運ばれたものでしょう。



民話の残る平庭高原

平庭高原は古くからの南部駒の産地で、馬にまつわる伝説も数多く残っています。なかでも「マオー鳥伝説」は、継母にしいたげられた不遇な「馬子(まこ)」の次郎と愛馬マオーが一体となって、昇天したのち不死鳥のようにこの地域を見守っているというもの。内間木洞付近で発見された謎の鳥獣「ガタゴン」の足跡とも重なり、興味深いものとなっています。



謎の生物「ガタゴン」とは?

久慈市山形町(旧山形村)の畑で見つかった謎の足跡。長さ20cmほど、4本の前を向いた指とその反対に1本の指がある奇妙な足型は、クマやタヌキ、シカ、サルなど近隣で見られる動物とは全く異なったものだといえます。山形の「形」をとって「ガタゴン」と名付けられたこの珍獣は、夏になると「ガタゴンまつり」の御神体としてその卵が山車に乗せられ、町を練り歩きます。

